

「医療コーチングワークブック 対話的コミュニケーションのプラットフォーム」〈1版1刷〉をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

81頁 表2

[2019/6/13更新]

(誤) 赤字部分が「アナライザー」の「各タイプに対するコミュニケーションのポイント」

表2 医療機関における各タイプの傾向とコミュニケーションのポイント

タイプ	医療機関における傾向	各タイプに対するコミュニケーションのポイント
コントローラー	医師（特に外科系）や看護部長に多い。職位が上がるほどコントローラータイプが増える傾向にある	<ul style="list-style-type: none"> 結論から伝える 一文を短くする 感情を交えず、事実を伝える 「相談」として持ちかける
プロモーター	医療機関に最も少ない。事務職の経営企画や広報担当に多い	<ul style="list-style-type: none"> 「承認」する 仕事の依頼時は「〇〇さんをお願いしたい」と名指しで伝える 細かな指示を出さず、任せる
サポーター	医療機関に最も多い。看護師、リハスタッフ（PT/OT/ST）、事務職に多い。内科系医師にも存在	<ul style="list-style-type: none"> 頻繁に「承認」する 期待を伝える コミュニケーション量を多くする
アナライザー	医師、薬剤師に多い	<ul style="list-style-type: none"> 高圧的な態度に弱いため、柔らかな表現で伝える 事実ベースで発言の根拠を伝える（感情的にならない） 相手の専門性を尊重する 「正しさ」で訴求する

(正) 赤字部分が「サポーター」の「各タイプに対するコミュニケーションのポイント」

表2 医療機関における各タイプの傾向とコミュニケーションのポイント

タイプ	医療機関における傾向	各タイプに対するコミュニケーションのポイント
コントローラー	医師（特に外科系）や看護部長に多い。職位が上がるほどコントローラータイプが増える傾向にある	<ul style="list-style-type: none"> 結論から伝える 一文を短くする 感情を交えず、事実を伝える 「相談」として持ちかける
プロモーター	医療機関に最も少ない。事務職の経営企画や広報担当に多い	<ul style="list-style-type: none"> 「承認」する 仕事の依頼時は「〇〇さんをお願いしたい」と名指しで伝える 細かな指示を出さず、任せる
サポーター	医療機関に最も多い。看護師、リハスタッフ（PT/OT/ST）、事務職に多い。内科系医師にも存在	<ul style="list-style-type: none"> 頻繁に「承認」する 期待を伝える コミュニケーション量を多くする 高圧的な態度に弱いため、柔らかな表現で伝える
アナライザー	医師、薬剤師に多い	<ul style="list-style-type: none"> 事実ベースで発言の根拠を伝える（感情的にならない） 相手の専門性を尊重する 「正しさ」で訴求する

39頁 下から4行め

161頁 下から3行め

(誤) Patient Experience

(正) Patient eXperience